（様式－1）

# 災　害　速　報

関東支部

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生日時 | 令和 7 年 7 月 9 日（水曜日） 15時 55分 | | | | | | 天候 | 晴れ | | |
| 災害の程度 | 死亡 名 | | 負傷 1名 | | 職種 電工 | | 年令 23才 | | 経験年数 2.3年 | |
| 工事の種類 | 調査測量 | 伐採 | 運搬 | 仮設 | 基礎 | 組立 | 足場 | 架線 | 撤去 | その他 |
| 災害の種類 | 墜落・転落 | 転倒 | 物の飛来・落下 | 崩壊・倒壊 | はさまれ・巻き込まれ | 切れ・こすれ | 感電 | その他 | | |
| 原因 | 作業準備の不良 | 作業方法の不良 | 工具防具の不良 | 電気工作物の不良 | 作業者の過失 | 共同作業者の過失 | その他 | | | |

災害の状況

【件　　名】 鉄塔組立作業中における吊荷の激突災害

【作業内容】 A-D面　A脚側主柱材用補助材取付作業

【発生状況】

A-D面　A脚側主柱材用補助材の取付時，地組場にて斜材と主柱材用補助材と斜材用補助材を地組した。
地組した部材をクライミングクレーンで吊り上げ主柱材用補助材を片持ち梁状態で旋回した。旋回後，当該箇所に取り付ける際，斜材と主柱材用補助材の交点ボルト（M20）4本中3本が破断し，残った1本のボルトが支点となったことにより，主柱材用補助材が回転し，左足を挟まれた。
その後被災者を救出し，モノレールで登り口まで搬送した。

【時系列】

7月9日（水）
- 7:45　午前のTBM-KYを実施
- 8:00～ B-C面の鉄塔組立を実施
- 13:00　午後のTBM-KY実施
- 13:10　鉄塔材運搬のため，管理社員Aと作業員A，Bで資材置場へ向け出発
- 13:10～ A-D面　下部組立を実施
- 15:50　管理社員Aと作業員A，Bが資材置場から戻る
- 15:55　災害発生
- 16:00　作業班長より管理社員Aに災害発生の連絡
- 16:05　管理社員Aが救急車を要請
- 16:46　救急車現場到着
- 16:50　救急車で被災者を搬送
- 18:08　救急車病院到着，診察開始
- 18:50　病院にて手術方針，手術準備開始
- 19:50　集中治療室に入り，手術開始

7月11日（金）
- 9:30～ 労働基準監督署へ労災発生の詳細報告

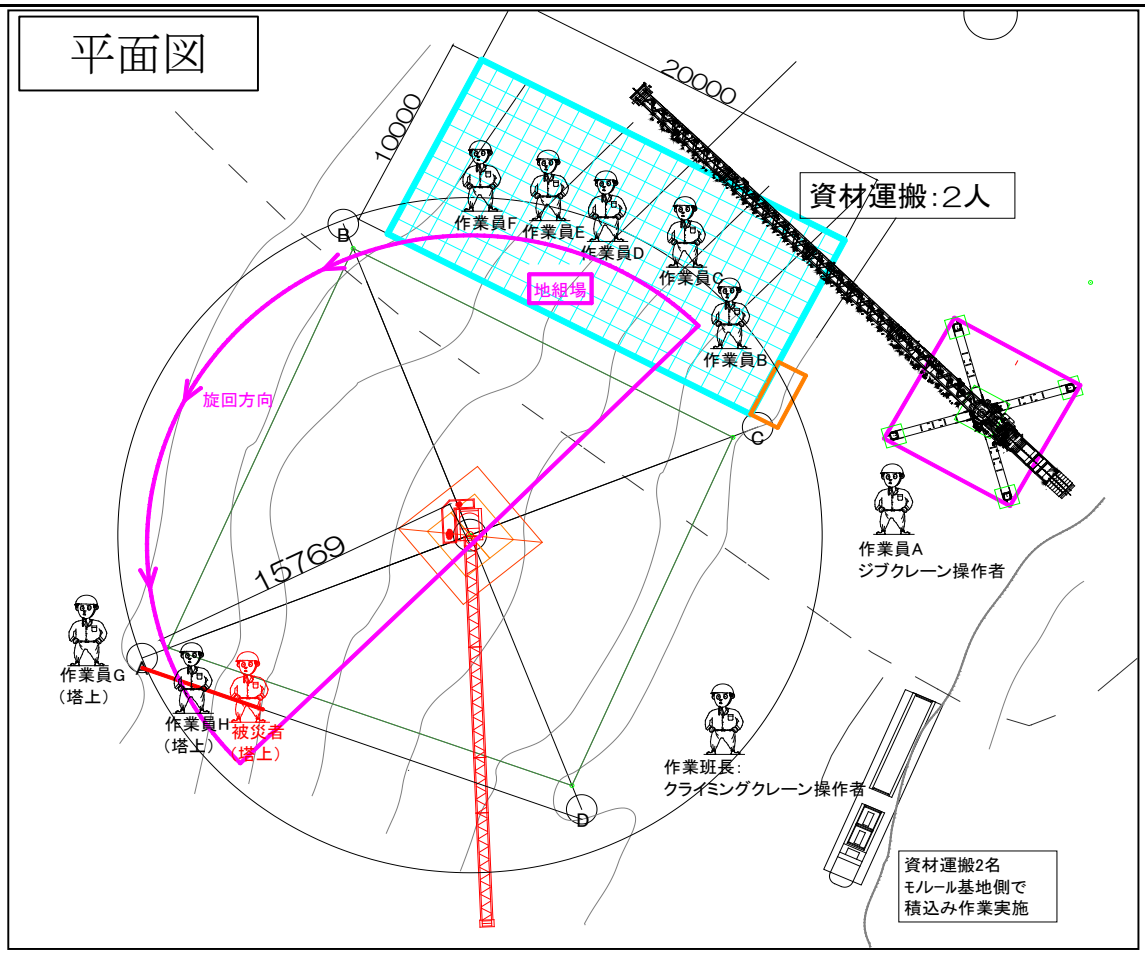
7月17日（木）
- 12:40～ 労働基準監督署現場検証開始

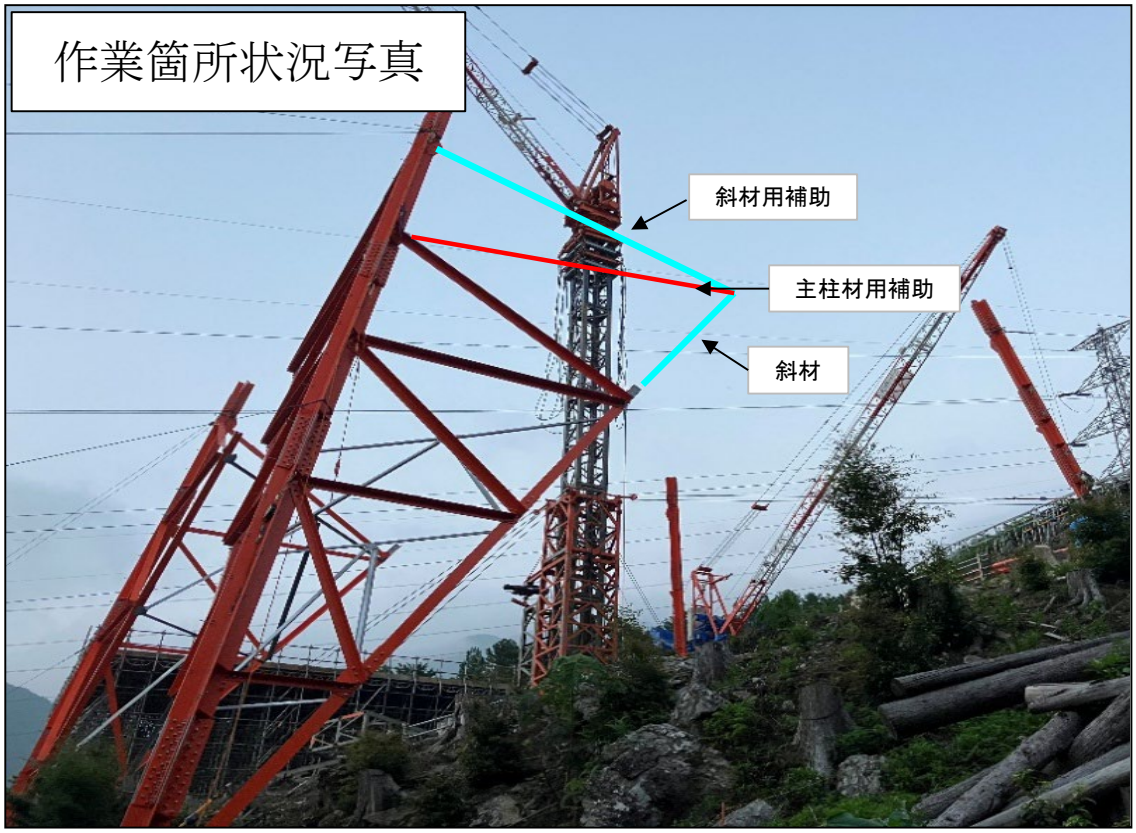
【被災程度】 左足根骨解放骨折，左足部切断

【添付資料】 災害概要図（様式2）

（様式－2）

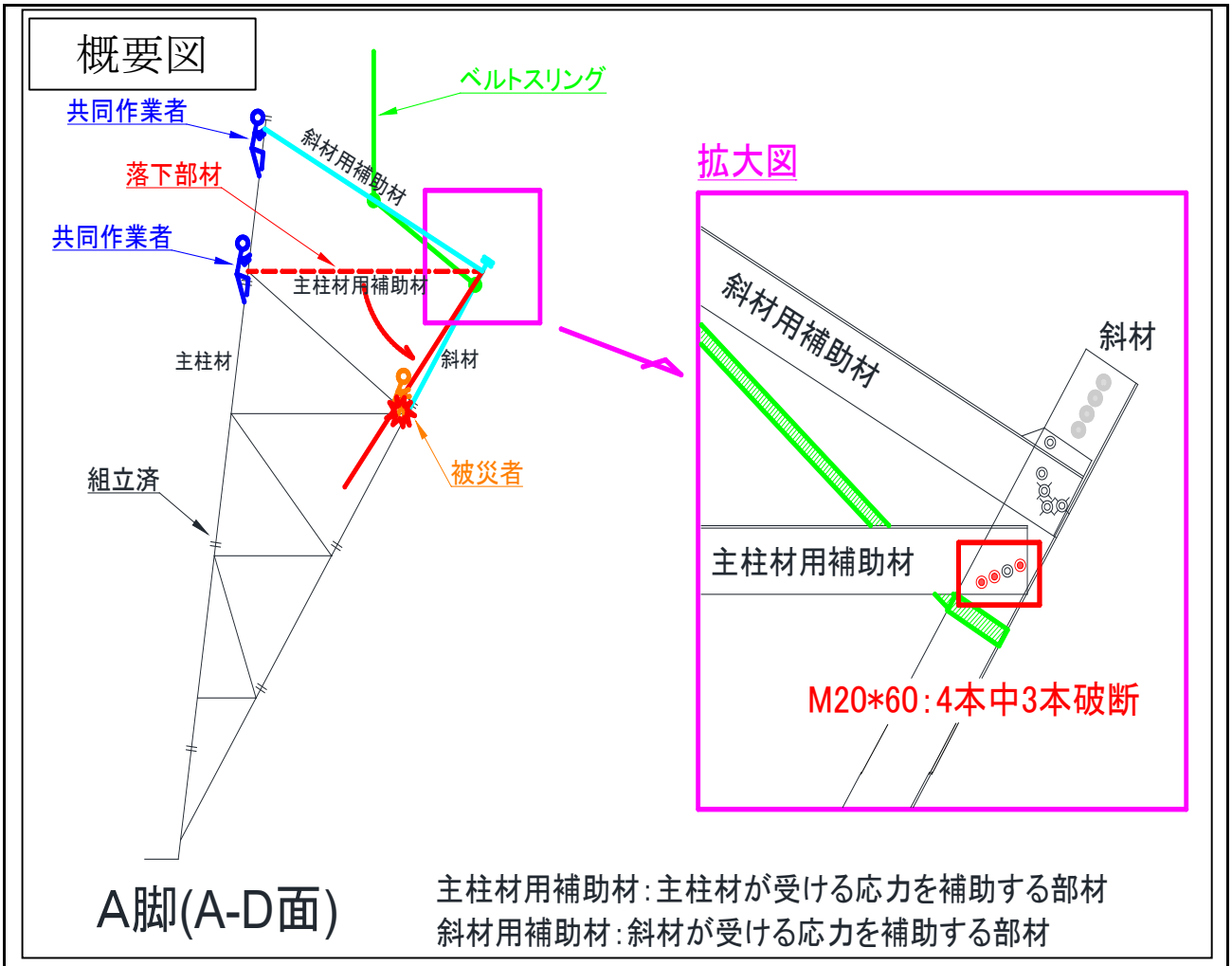
# 災　害　概　要　図


平面図
20000
10000
15769
資材運搬:2人
作業員F
作業員E
作業員D
作業員C
作業員B
地組場
旋回方向
B
C
D
作業員A
ジブクレーン操作者
作業員G
（塔上）
作業員H
（塔上）
被災者
（塔上）
作業班長:
クライミングクレーン操作者
資材運搬2名
モノレール基地側で
積込み作業実施


作業箇所状況写真
斜材用補助
主柱材用補助
斜材

（様式－2）

# 災　害　概　要　図


概要図
共同作業者
落下部材
共同作業者
ベルトスリング
斜材用補助材
主柱材用補助材
主柱材
斜材
被災者
組立済
拡大図
斜材用補助材
斜材
主柱材用補助材
M20*60：4本中3本破断
A脚(A-D面)
主柱材用補助材：主柱材が受ける応力を補助する部材
斜材用補助材：斜材が受ける応力を補助する部材